

事業報告概要書（公表版）

1 基本情報						
施設名又はグループ名			指定管理者名及び団体概要			
日比谷公園大音楽堂			(指定管理者名) 公益財団法人 東京南部パークスグループ (団体の概要)公益財団法人東京都公園協会、大星ビル管理株式会社、及び株式会社共立が共同事業体として管理する。			
指定期間						
R5.4.1 ～ R6.9.30(1年6カ月) R6.11.1 ～ R7.9.30(11カ月)						
2 施設名		3 収支(単位:千円)				
日比谷公園大音楽堂		項目	令和6年度② 金額	令和6年度① 金額	令和5年度 金額	公園別支出額
	内 訳	収入 計	32,543	37,888	73,022	①日比谷公園大音楽堂:36,973 ②日比谷公園大音楽堂:31,236
		指定管理料	32,543	37,888	73,022	
		利用料金				
		その他収入				
	支出 計	31,236	36,973	71,607		
	収支差	1,307	915	1,415		
4 管理運営の概要						
音楽文化の発信拠点として100年以上もの間レガシーを支える中心的な役割を果たす。 ①組織体制と役割分担、職員の技術・能力向上への取組 ②質の高いサービスを提供するための具体的な取組 ③利用者要望の把握と施設の特性を活かした利用方法などのアドバイスや提案 ④地域コミュニティとの連携による施設の魅力や地域の価値の向上につながる取組 ⑤施設の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の実施						
5 管理状況						
①維持管理						
築40年を超え、施設、設備全般的に老朽化、経年劣化が進む中、適切な保守点検や巡回点検並びに予防保全的な補修、工事を実施することにより、安全性の確保と施設の寿命延長につながる取組を行った。 ①日頃の維持管理で蓄積した履歴の活用による各設備機器の点検を実施 ②各種法令の遵守と法定点検実施による作業の安全と施設の安全を確保 ③施設補修、施設改良に関する要望への取組 ④公園が持つ緑の特性を一層引き出すための新たな維持管理の実施 ⑤工事の発注から現場確認等工事監督、工事完了時の完了検査等を安全、確実に実施						
②利用者への対応						
①令和6年10月以降の使用延長に伴い、使用申込み抽選、受付並びに冬季期間の拡大施行実施継続延長への対応等適切に行ったことで、利用者からは非常に高い評価を得ることができた。 ②大音楽堂の爆破予告に対し、主催者と情報共有を密に取りながら警備態勢強化を図り、施設及び利用者、来場者の安全確保に東京都並びに日比谷公園、警視庁と連携の上、適切に対応した。 ③現在検討が進められている大音楽堂再整備事業に関して、利用者や演者へのヒアリングを実施したいとの都からの要望に応え、主催者であるプロモーターをはじめ音響、照明、舞台製作やアーティストにも協力をお願いをし、12月下旬から1月中旬にかけてヒアリングのセッティングを行った。 ④日比谷公園再生整備事業の進捗状況を踏まえた「日比谷音楽祭2024」並びに初の平日夜間開催とした「日比谷野音オープンデー2024」を実施したことで、施設の魅力向上並びに地域の活性化に貢献した。						
6 利用者アンケート結果						
実施方法：大音楽堂を利用した団体へ当日アンケート用紙を配布し記入						
施設名	総合満足度	利用者サービス	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応	
日比谷公園大音楽堂	4.9	4.7	4.7	4.8	4.9	
7 入園者数の状況(単位:人)						
施設名	当該年度	分析				
日比谷公園大音楽堂	248,108	10月休館による催事減少のため入場者数は約10,000人減少した。(259,011人→248,108人)				
合 計	248,108					

日比谷公園 大音楽堂

所在地：千代田区、千代田区／敷地面積：0.57ha

多くのアーティストたちが様々な世界観をつくりあげ披露する
聖地・殿堂「日比谷野音」



「日比谷音楽祭2024」開催

日比谷公園再生整備事業を踏まえた有観客と生配信のハイブリッド開催

「日比谷音楽祭2024」は、**日比谷公園再生整備事業の進捗状況を踏まえて**、例年使用している噴水広場、第二花壇、にれの木広場に変わり、第一花壇、健康広場、一部園路を新たに使用しての開催となった。6月8日(土)・9日(日)の2日間にわたり、今回も「フリーでボーダレスな音楽祭」をテーマに全てのプログラムを無料で開催するとともに、**有観客＋オンライン生配信の2本立てにて実施した。**

初夏の風物詩として定着したことや天候に恵まれたこともあり、**過去最多の17万5千人の来場者**にて大盛況にて開催することができた。併せて例年通り、U-NEXTの動画配信においても生配信及び見逃し配信を含めて**視聴者数約25.2万人、総再生回数約58万回**と大変多くの方々に画面を通して参加いただくことができたとともに、動画配信サービスを通じて自然と文化を育む国際都市東京の魅力を日本各地をはじめ海外にも発信することができた。

翌日の情報番組等（TV10件、ラジオ8件、新聞8件Web441件他）でも多数取り上げられたことで、**日比谷音楽祭はもとより日比谷公園と野外大音楽堂の魅力の向上にも資することができた。**また、大音楽堂でのアンケートにおいても無料で素晴らしい、色々な音楽が聴けて良かった、幸せな時間を過ごせた等ほぼ全員が満足したとの回答であった。



YAON(大音楽堂)
Hibiya Dream Session 1



YAON(大音楽堂)
Hibiya Dream Session 2



YAON(大音楽堂)
Hibiya Dream Session 3

「日比谷野音オープンデー2024」開催

初の「ナイトオープンデー」と題して平日の夜間に無料開放にて開催

例年、休日の昼帯に実施をしているオープンデーにつき、今回はタイトルも「ナイトオープンデー」と題して、**初めて平日の夜間帯（16:00～20:00）**にて9月12日(木)に開催した。夜間開催に合わせて、正面玄関のライトアップやステージを照明による装飾でライブ感を演出したり、楽屋内では100年にわたる野音の歴史をパネルで紹介する等の展示を行った。

初めての平日開催であったが、事前のPR（HPでの告知や近隣駅、施設へのチラシ配布）をはじめ、当日の朝はフジテレビ「めざましテレビ」での告知なども行われたことで、**来場者数は計画値の1,000人を上回る1,300人の来場者により大盛況にて実施することができた。**アンケート結果(189件)においても素敵だった、アーティストと同じ景色を見れて感無量等大変好評であった。

また、今回は野音の近隣企業・官庁などに勤めている方々に多く来館いただくことで、**今後の建替え再整備事業への理解並びに建替え後の4代目野音への協力を得ることも目的のひとつ**として、敢えて平日の夜間帯での開催としたが、結果、来場者の3割程度は会社員であったことから、所期の目的は相応に達成することができた。



ステージに立つ来場者



仕事帰りに立ち寄る会社員

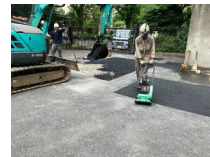
適切な管理の履行

老朽化設備への適切な対応による安全、快適な施設の維持

経年劣化が進んで頻繁に詰り支障をきたしていた女子トイレ汚水配管の取替工事及びへこみ段差による通行障害があった外構各所の補修工事を実施したことで、**催事中の不具合発生故障による来場者への影響及び通行事故の発生を抑えるなどのリスク軽減と予防保全を図った。**



汚水配管取替工事

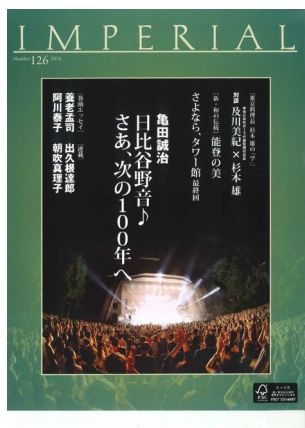


外構各所補修工事

広報・PR等の取組み

大音楽堂の魅力やレガシーを発信

帝国ホテルと連携し、ホテルの顧客と宿泊客を读者とする帝国ホテルハウスマガジン「IMPERIAL」（年間14万部発行）へ野音の特集記事を掲載。「BRUTUS Casa（ブルータス カーサ）」では「もうすぐなくなる日本の名建築」に日比谷野音の歴史とともに施設が紹介された。また、作家・南けんしゅう執筆による「野音2024 いちご同盟の歌姫」という野音を舞台にした小説が7月に刊行された。日頃より地域やマスコミと情報連携することで、これら様々な媒体を通して大音楽堂が果たしてきた歴史や役割を発信する等**メディアを通して施設の更なる魅力の向上、PRに繋げることができた。**



インペリアル



ブルータスCasa



野音2024

都からの要請への協力・対応

大音楽堂使用延長に伴う対応並びに再整備事業への協力等

日比谷公園大音楽堂については、令和6年10月以降の使用延長に伴い、使用申込み抽選、受付をはじめ冬季期間の拡大施行実施継続延長への対応等適切に行ったことで、**利用者からは満足の声を得る結果となっている。**

また、現在検討が進められている大音楽堂再整備事業に関して、使用者や演者へのヒアリングを実施したいとの東京都の要望に応え、主催者であるプロモーターをはじめ音響、照明、舞台製作やアーティストにも協力をお願いをし、12月下旬から1月中旬にかけてヒアリングのセッティングを行った。

その他、野音で開催される公演に対して大音楽堂爆破予告がなされたが、主催者と情報共有を密に取りながら警備態勢強化を図り、施設及び来場者の安全確保に**東京都並びに日比谷公園、警視庁と連携の上、適切に対応した。**



コンサート利用



抽選風景